

川端康成と横光利一展 関連イベント

展覧会がもっと面白くなる アート&ブックガイド

日時：11月30日（金）18:30-20:00（開場 18:00-）

開催当日、図書館は休館日となります。

日本人初のノーベル賞受賞作家、川端康成（1899-1972）と、三重ゆかりの文豪、横光利一（1898-1947）はほぼ同世代。ともに1920年代にデビューし、一緒に新感覚派という新しい文学運動を起こし、昭和を代表する作家となったふたりは、唯一無二の親友でした。

川端の作品は名作「伊豆の踊子」をはじめよく知られています。一方、横光は戦後すぐに没したため、川端ほど読まれていないかも知れません。しかし、20世紀の新しい文学を切り拓いた横光作品は、今の時代だからこそ面白い現代的な魅力にあふれています。

県立美術館で開催の「川端康成と横光利一展」にちなんで、ふたりの交流や関連する美術の話題も織り交ぜながら、川端康成と横光利一のお勧め作品を紹介します。

イベントの最後には、図書館司書によるおすすめ本の紹介もあります。



上：横光利一 下：川端康成

会場：三重県立図書館 | 階閲覧室

（津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター内）

講師：速水豊（三重県立美術館長）

主催：三重県立図書館 三重県立美術館

お申込み

お名前、お電話番号を下記いずれかの方法でご連絡ください。
*定員になり次第、締め切らせていただきます。

三重県立図書館「アート&ブックガイド」係

【TEL】059-233-1181

【窓口】県立図書館カウンター

【申込フォーム】県立図書館ウェブページより



いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。

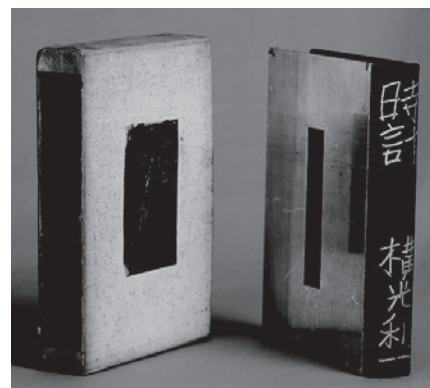
参加無料・申込先着50名様

三重県立美術館 企画展

横光利一誕生120年 川端康成コレクション

川端康成と横光利一展

2018年10月27日（土）-12月16日（日） 三重県立美術館 企画展示室
「文学の神様」と仰がれた三重ゆかりの文豪、横光利一と、その生涯を通じて最大の親友であった近代日本を代表する作家、川端康成。彼ら二人の業績や交流、その美意識を、書簡や書籍、関連する美術作品によって紹介します。



横光利一『時計』1934年
創元社 装幀：佐野繁次郎